

総務広報委員会事業計画

総務広報委員会 委員長 木村修也

真岡青年会議所は、長年の活動の中で地域の皆様やご家族の理解、諸先輩方の支えがあり55年という歴史をつないできました。近年、メンバーの在籍年数低下の影響もあり、55年という歴史・伝統・ルールを知り、伝えていく機会が減少しております。この先、永続する組織には、様々な困難にも乗り越えてきた歴史や伝統を守り続け、メンバーが積極的に運動できるLOM 運営と、理解ある地域への存在意義を波及させる広報活動が必要です。

まずは、メリハリのある LOM 運営を実現するために、総務広報委員会が模範となることでメンバーの士気を向上させます。そして、一体感のある組織を実現するために、各委員会に出向き連携を図ることで、各委員会としてではなく、LOM 全体としてメンバー間の結束力を高めます。さらに LOM の全てのメンバーが活躍できる組織を作るために、育 LOM を積極的に取り入れることで、柔軟に活動できる環境を実現します。また、本年度の第一歩としてメンバー一人ひとりに活動方針を共有、意識の統一を図るために、1月通常総会を開催し、LOM 全体の足並みを揃え、一体感あるスタートを実現します。そして、新たな歴史を積み重ねるために、8月臨時総会を開催し、振り返ることで、後半の活動に対する意欲向上と次年度体制に向けての意識を高めます。さらに次年度体制確立のために、本年度の総括を行う12月臨時総会を開催し、次年度へ歴史を紡ぎ、組織が飛躍する契機とします。また、広報活動においては LOM の魅力を知ってもらうために、ラジオや地元広告紙、SNS ツールを最大限に有効活用し、LOM の存在意義や活動の理解、共感を地域に波及させます。

長い歴史を築き上げてきた組織だからこそ、この先も永続する組織として、地域から必要な組織と理解され、メンバー一人ひとりが、魅力溢れる運動のもと、発信の重要性を認識し、この先も繁栄する地域へ成長、発信する人財の集合体となった組織を実現します。

<事業計画>

1. 思いやりの心で芯のある LOM 運営
2. 時代に合った効果的な広報
3. 事業で魅せる会員拡大
4. 日本青年会議所、関東地区協議会、栃木ブロックへの参加及び協力
5. 関東地区栃木大会の成功に向けて協力